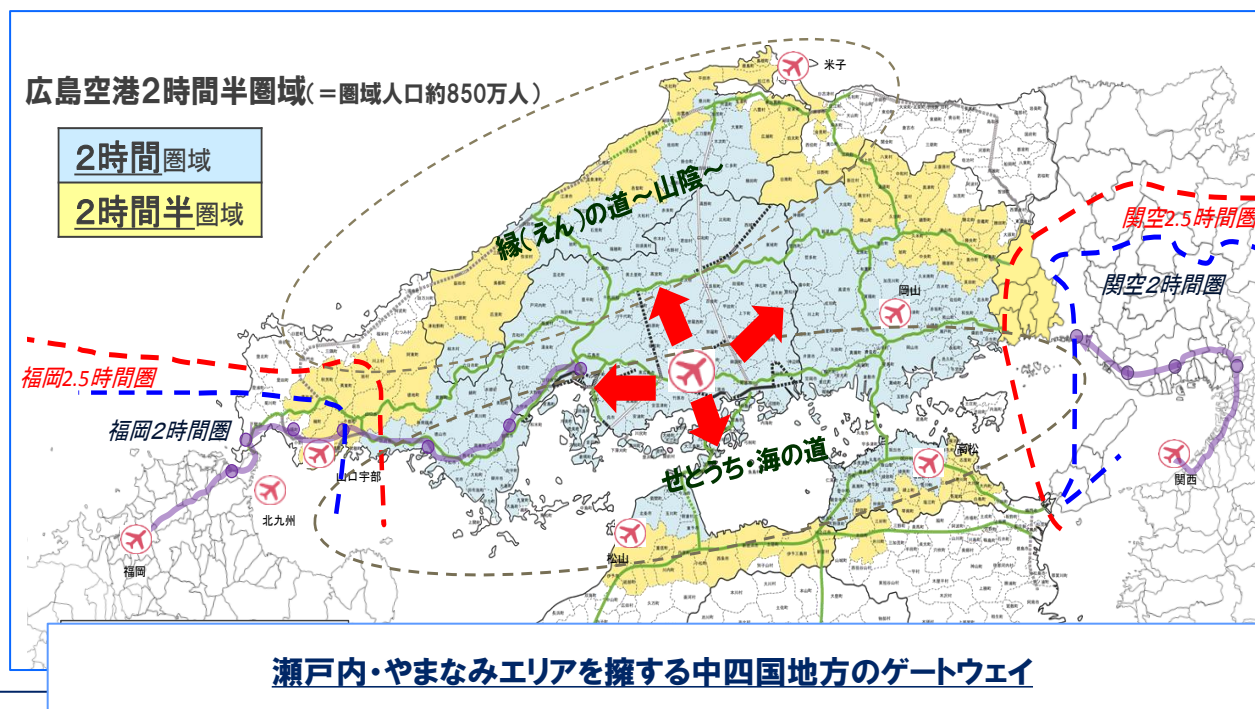


＜将来目標とは＞ 空港経営改革を通じて、目指すべき**広島空港の将来像を表すもの**

＜将来目標を策定する主な意義・効果＞

- 将来目標の実現に向けて、当事者として、空港運営権者とともに、空港活性化を進めていく地域としての意思表示
- 空港運営権者から地域のニーズを踏まえた積極的な事業提案を誘引
- 運営権者と地域の関係者が目標を共有することで、関係者の主体的な取組を促進（機運醸成）

＜将来像イメージ＞

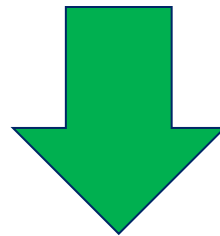


広島県の将来像

■ 活気あふれる広島県

(「ひろしま未来チャレンジビジョン」より)

少子高齢化の進む中、国内外からの交流人口を拡大するなどにより、
活力に満ちた地域社会を実現する。



広島空港の目指す将来像

■ 広島空港から始まるグローバルネットワーク

(「広島空港の経営改革に係る県の基本方針」より)

- 国内外との交流活性化によって、県民・県内企業の
交通利便性を確保し、交通結節点として、
地域の持続的な成長を支える中四国地方の拠点空港

《示し方》

① 「方向性」と「数値」を段階的に提示していくことが効果的ではないか(案)

第1段階 ⇒ 「方向性」を公表

第2段階 ⇒ 「定量化」して公表

＜効果＞

■ 継続的に報道で取り上げられることで注目度が増すのではないか

■ 運営参画を検討する事業者は、地域の思いを中心に据えながらも、数字に囚われない自由な発想で、提案検討を始めやすいのではないか

② 方向性を提示

(例:福岡空港 ○○路線の拡充を目指す 等)

③ 数値を提示(定量的に提示)

(例:仙台空港・高松空港 ○○万人以上, 国際線○倍以上を目指す 等)

広島空港の目指す将来像

～広島空港から始まるグローバルネットワーク～ (「広島空港の経営改革に係る県の基本方針」より)

国内外との交流活性化によって、県民・県内企業の交通利便性を確保し、交通結節点として、地域の持続的な成長を支える中四国地方の拠点空港

		方向性(素案)
旅客	国内	リニア開通の影響を踏まえつつ、 ●首都圏路線のLCC拡大 ●訪日外国人の乗継利用拡大 ●地方間路線の拡充(新規路線開拓, LCCによる新規需要) などによる利用拡大
	国際	●圏域内居住者の利用率向上 ⇒地域の住民・企業のニーズに沿った路線・便数の実現 ●訪日外国人需要の取り込み ⇒航空需要を支える重要な要因として取り込み などによる利用拡大
貨物		内際の変化も踏まえつつ、 地域特産品等の海外販路拡大の取組との連携等により、現状以上